

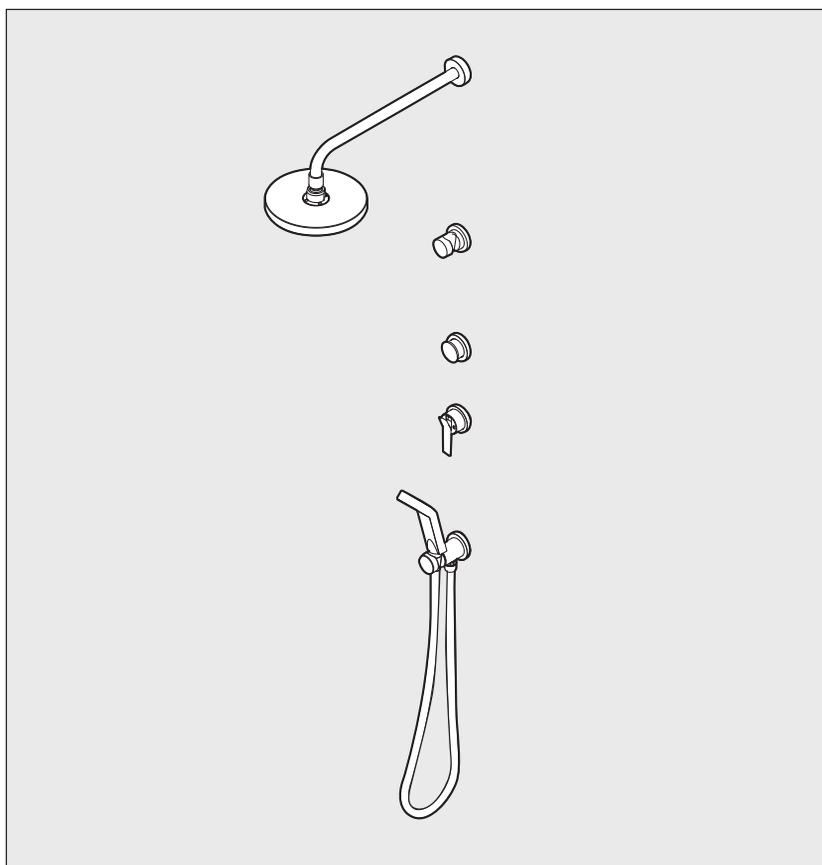
YORI
SUTTO

シングルシャワー混合栓

…………… SK9732-1S-13,SK9732-1S-MDP-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



—お客様へ—

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

—工事店様へ—

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称……………1
寸法図……………2

施工について

施工に関する安全上のご注意……………3
適切な使用条件……………4
施工前のご注意……………4
梱包明細……………5
施工手順……………6~13

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意……………14~17
吐水・止水・温度調節……………18
シャワー側の切替え……………19
凍結予防について……………20

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り……………20
シャワーの掃除……………21

定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ……………21

こんなときは

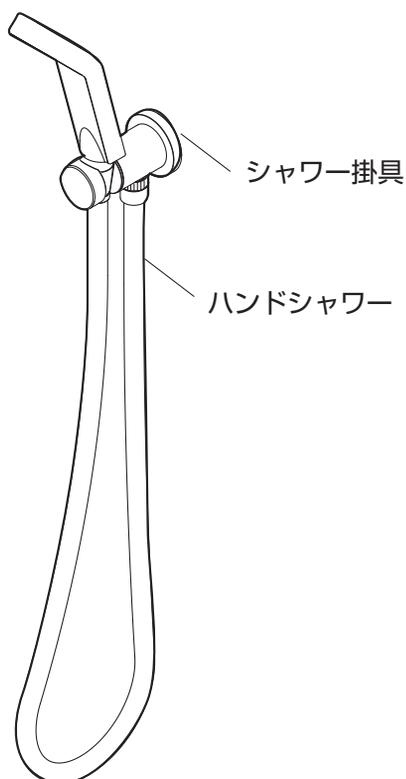
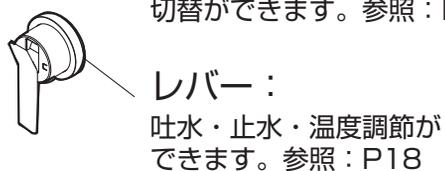
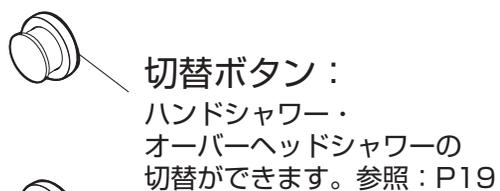
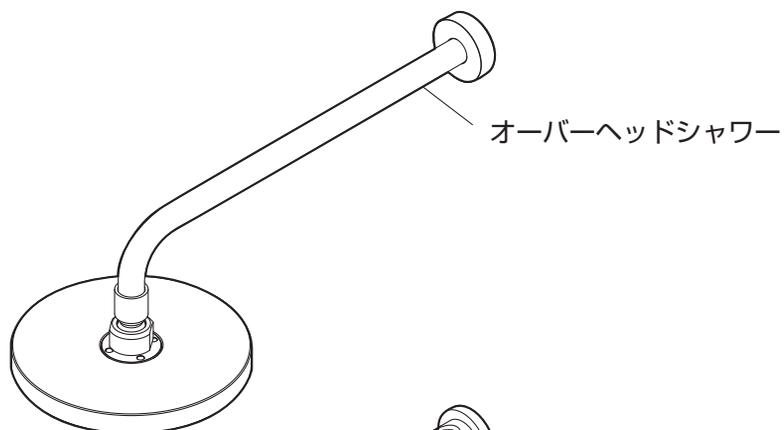
故障? その前に……………22
本製品の構造……………23

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス……………26
保証書……………裏紙

本製品について 各部の名称

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意 ……………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



……………「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）



……………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



……………「分解してはいけません！」



……………「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意



修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても湯が出て、やけどをする事があります。



給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
60℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



**強度のある壁・建築構造体に取り付け、下地の厚みや補強が十分に
ある事を確認してください。**
石膏ボード壁などの強度のない壁に取り付けると、取付部がはずれ、落下・けが・水漏れの原因になります。

⚠️ 注意



取付穴周囲にシーリング材を使用してください。
シーリング材を使用しないと壁裏へ水が侵入し、取付部がはずれ、けがや水漏れの原因になります。



凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



取付完了後、製品にガタツキがない事を確認してください。
製品にガタツキがあると、落下・けが・破損の原因になります。



給水圧力と給湯圧力の差は0.05MPa以内にしてください。
逆流のおそれや、温度調節機能が損なわれ、やけどの原因となります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

| 給水・給湯圧力 | 最低必要水圧(流動時) | 最高使用水圧(静止時) |
|---------|-------------|-------------|
| | 0.1MPa | 0.75MPa |

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力と給湯圧力は同圧になるようにしてください。
または、給水圧力は給湯圧力より必ず高くし、差圧は0.05MPa以内になるよう確認してください。

〔給湯機について〕

| | |
|--------|-------|
| 使用最高温度 | 60℃以下 |
|--------|-------|

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50℃以下の給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。

〔水質・用途について〕

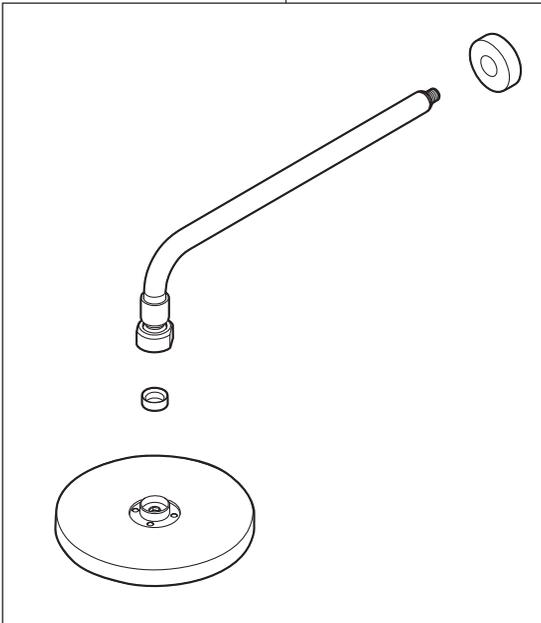
| | |
|--------|---------------|
| 使用可能水質 | 水道水及び飲用可能な井戸水 |
| 用途 | 一般住宅用 |

施工について 施工前のご注意

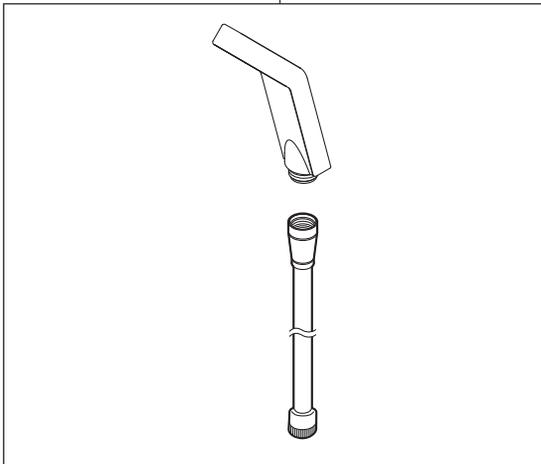
- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

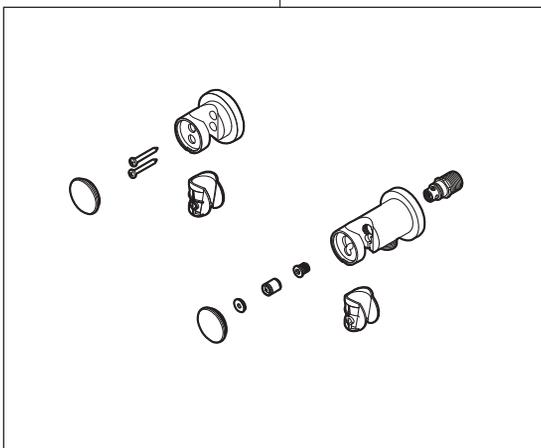
オーバーヘッドシャワーセット



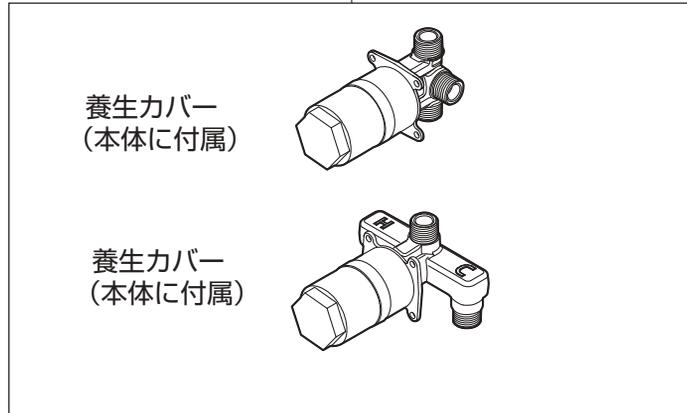
ハンドシャワーセット



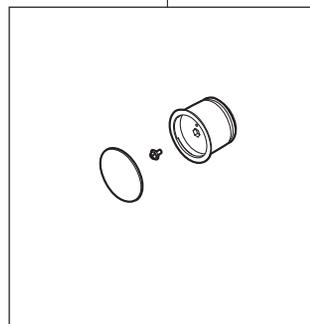
シャワー掛け具×2



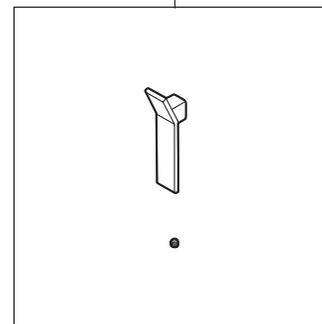
本体



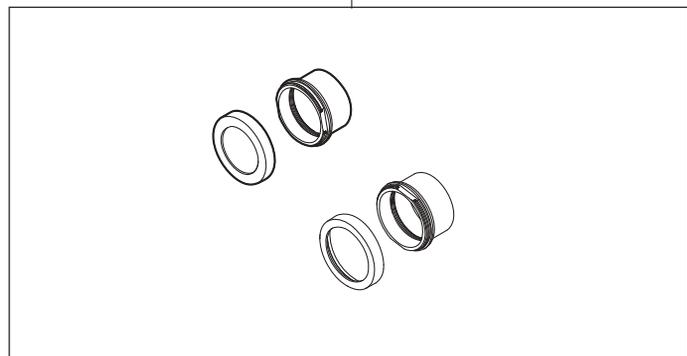
切替ボタン組品



レバー組品



化粧リング組品



六角レンチ
(対辺3mm)×1



レバーの止めねじ用工具です。
なくさないように保管してください。

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

- シールテープ：
オーバーヘッドシャワー・接続金具を壁に取付ける際に必要です。



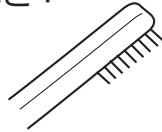
SANEI品番：
PP75-1S
(シールテープ)

- スパナ・モンキーレンチなど：
水栓のナットがまわせる工具。



SANEI品番：
PR3351
(水栓スパナ)

- 使い古しのハブラシなど：
配管掃除ができるもの。



- 手袋：
ケガ防止のために着用してください。



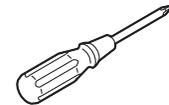
- タオルなど：
ケガ防止や水栓保護のために使用します。



- ぞうきんなど：
配管中の残り水を拭くのに使用します。



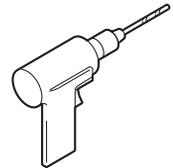
- プラスドライバー：
各部品の取付けに必要な工具。



- シーリング材：
ブッシングと壁面のすき間を埋める際に必要です。



- 電動ドリル：
シャワー掛具の取付けに必要な工具。



元栓がキー式の場合に必要な工具 (参照：P8)

- 止水栓キー

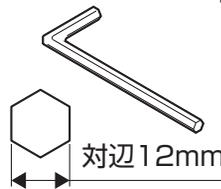


SANEI品番：
PR30A
(止水栓キー)

配管中のザルボがはずれた場合に必要の工具

- 六角レンチ

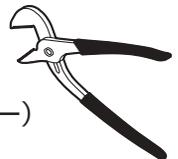
SANEI品番：
PR35
(六角スパナ)



対辺12mm

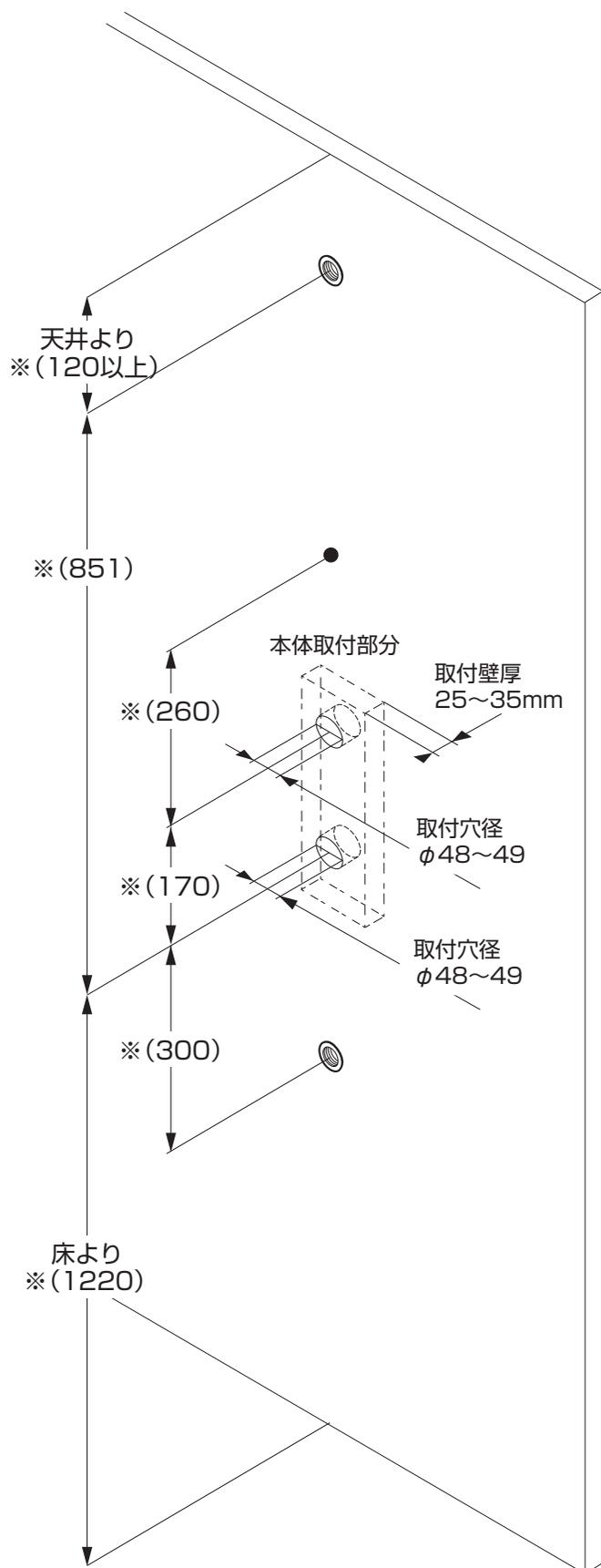
- プライヤー

SANEI品番：
PR346-1S
(水栓プライヤー)



1 給水・給湯配管の芯出しをします。

次のような下準備を行ってください。



注意

本体取付部分の取付けに
25~35mmの厚さが必要
です。

※部寸法は推奨寸法ですので、現場状況や使用者に合わせて施工してください。

2 取付穴周囲のゴミを取り除きます。

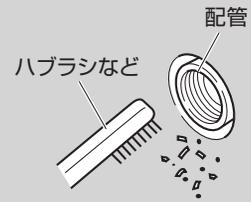
注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、
必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の閉め方については、下記を参照ください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。



●元栓を閉めて、水を止める方法

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

※一部の地域では左回しの場合があります。

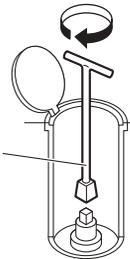
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形の
キー式ボックスがあったりします。

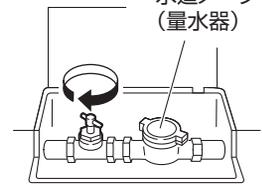
●キー式

止水栓キー
SANEI品番：
PR30A
(止水栓キー)



●ハンドル式

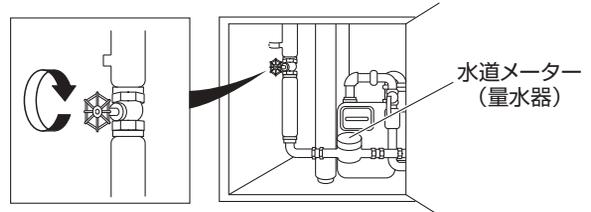
水道メーター
(量水器)



■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、
電気やガスのメーターと共に水道メーターと
元栓があります。

お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわから
ない場合は、水道料金の検針票などでご自分の
水道メーター番号を確認してください。



3 水栓本体を取付けます。

(1) 本体に給水・給湯、各配管部材を取付けます。

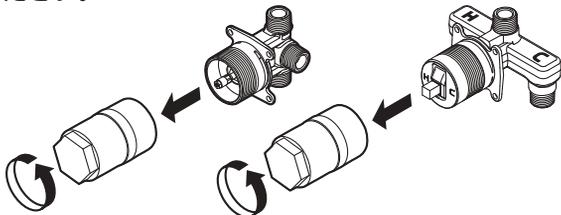
注意



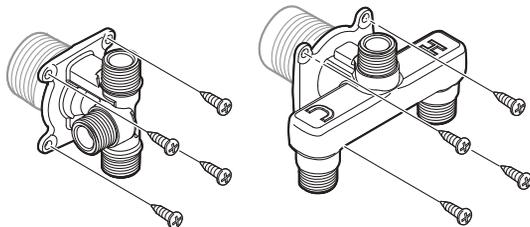
接続後、通水して水漏れ点検を行ってください。

【パネル・壁に取付ける場合】

取付ける前に本体の養生カバーを予め外してください。



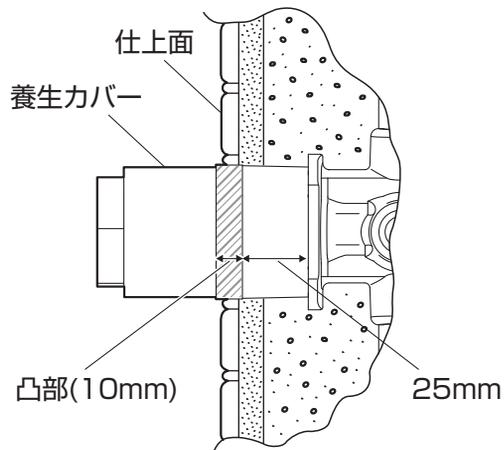
固定ねじ（φ5相当以下）で製品を仕上面裏に固定してください。



※各現場に合わせて固定用ねじを準備してください。

【壁に埋込む場合】

モルタルなどで埋め込む場合、養生カバーは壁面の仕上げが済むまで被せておいてください。

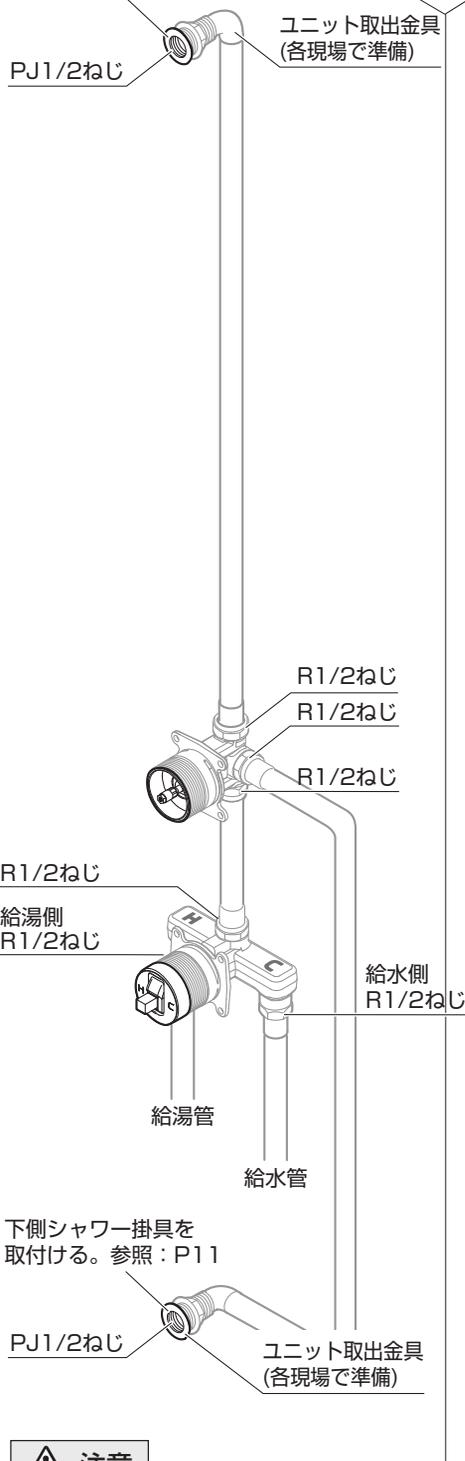


注意

仕上げ面が凸部の範囲に入るように仕上げてください。

仕上げのあと養生カバーをはずします。

オーバーヘッドシャワーを取付ける。参照：P11



注意

- 現場に合わせて、各配管をご用意ください。
- 接続箇所には必ず配管用シール材を使用してください。

(2) 通水確認後、仕上げ面に固定します。

4 切替ボタン・レバーを取付けます。

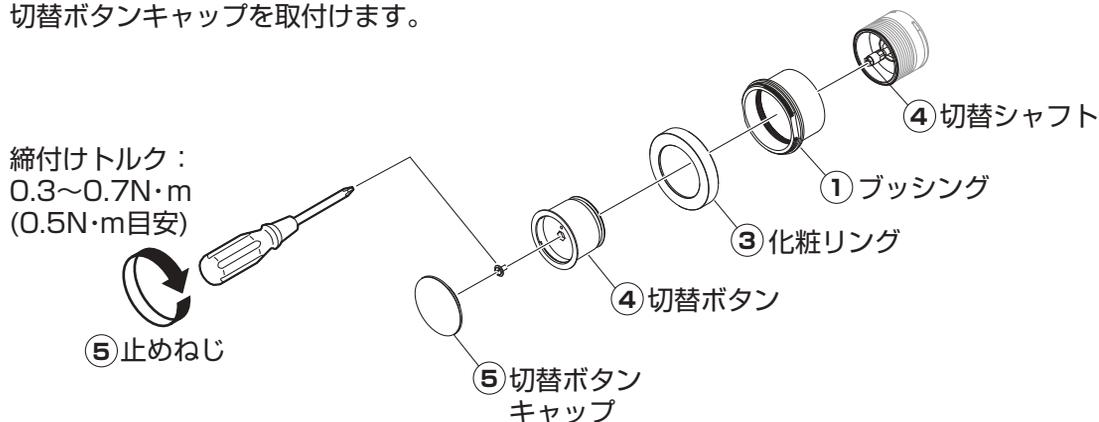
切替ボタンの取付け

- (1) 本体にブッシングを取付けます。
- (2) 壁穴から水が入り込むのを防ぐためシーリング材を塗布します。
- (3) ブッシングに化粧リングを取付けます。
- (4) 切替ボタンを切替シャフトを取付けます。
※切替シャフトの先端形状に合わせて切替ボタンを取付けて下さい。
- (5) 止めねじで切替ボタンを切替シャフトに固定し
切替ボタンキャップを取付けます。



注意

ブッシングねじ部に
シーリング材が付着
した場合はふきとって
ください。



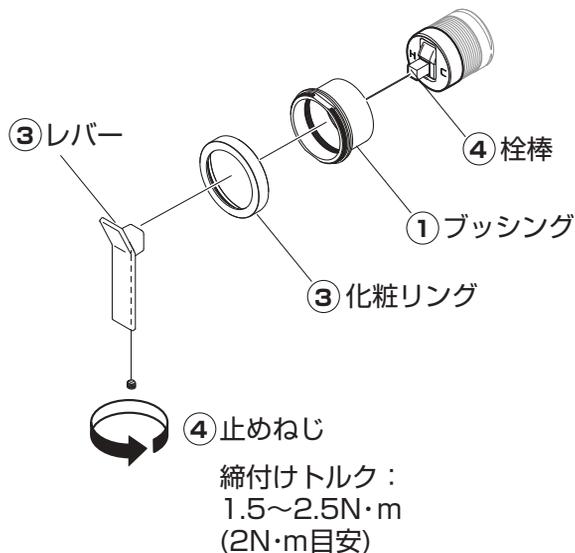
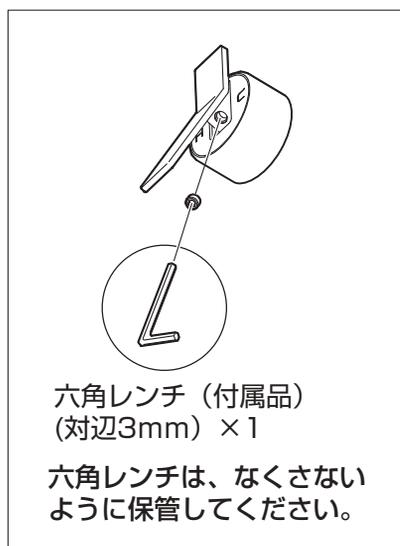
レバーの取付け

- (1) 本体にブッシングを取付けます。
- (2) 壁穴から水が入り込むのを防ぐためシーリング材を塗布します。
- (3) 化粧リング・レバーを取付けます。
- (4) レバーと栓棒部を止めねじで、付属の六角レンチを使用し
固定します。



注意

ブッシングねじ部にシー
リング材が付着した場合
はふきとってください。

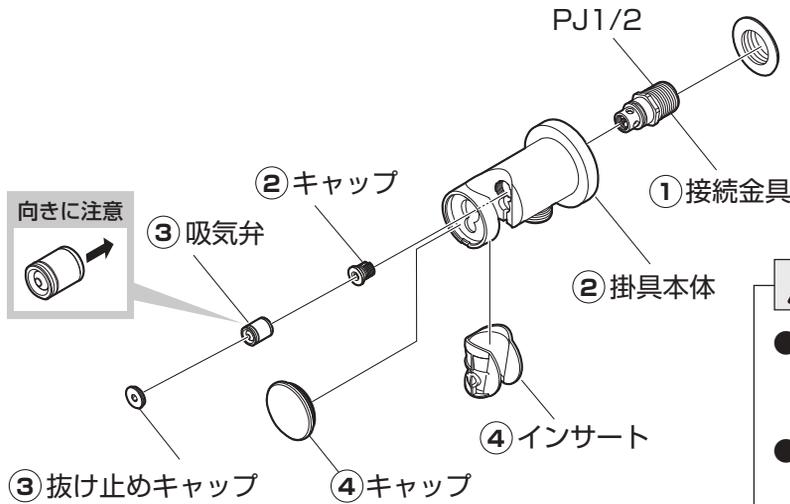


注意

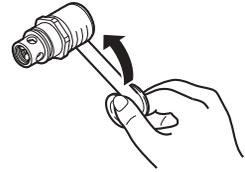
取付穴周囲にシーリング材を使用してください。
シーリング材を使用しないと壁裏へ水が侵入し、取付部がはずれ、けがや水漏れの原因となります。

5 下側のシャワー掛具を取付けます。

- (1) 接続金具にシールテープを巻き固定します。
- (2) 掛具本体を取付け、掛具本体の止穴からキャップで固定します。
- (3) 吸気弁を取付け、抜け止めキャップを掛具本体に固定します。
- (4) インサートと掛具キャップを取付けます。



注意



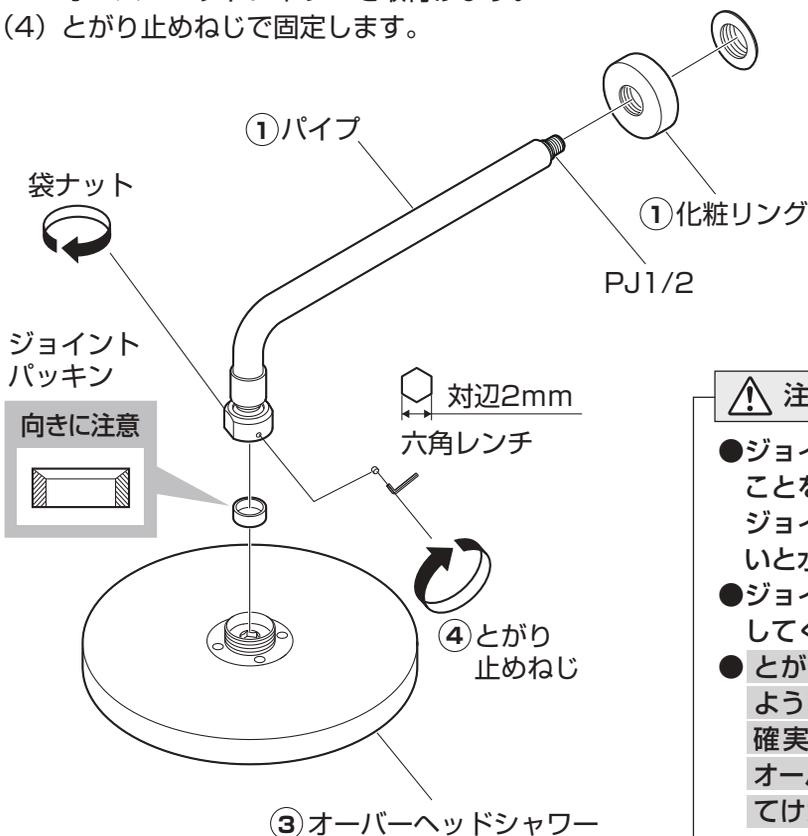
シールテープは正しい方向に巻いてください。逆に巻くとシールテープがゆるみ、漏水の原因となります。

注意

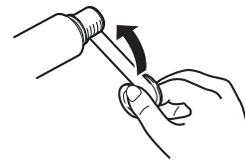
- 掛具はハンドシャワーホースとの接続部が下側になるように取付けます。
- 吸気弁の向きに注意して組み付けて下さい。水漏れするおそれがあります。

6 オーバーヘッドシャワーの取付けます。

- (1) パイプに化粧リングを取付けます。
- (2) パイプにシールテープを巻き、壁に固定し、化粧リングを壁と隙間がなくなるまでもどします。
- (3) モンキーレンチなどで袋ナットを回し、オーバーヘッドシャワーを取付けます。
- (4) とがり止めねじで固定します。



注意

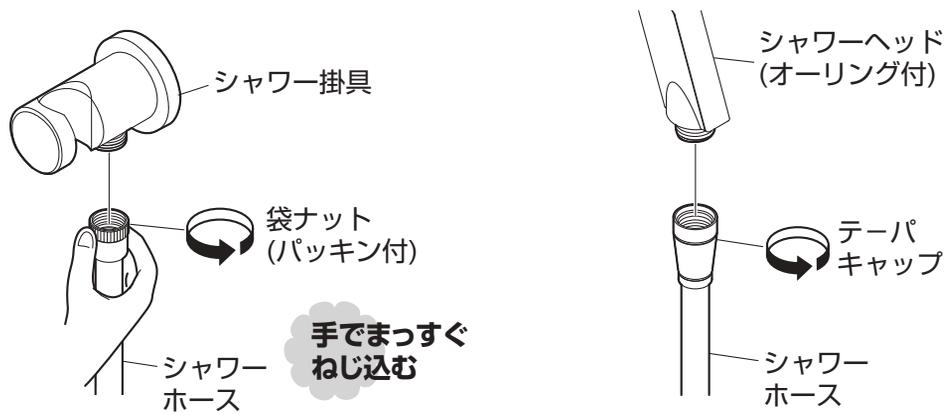


シールテープは正しい方向に巻いてください。逆に巻くとシールテープがゆるみ、漏水の原因となります。

注意

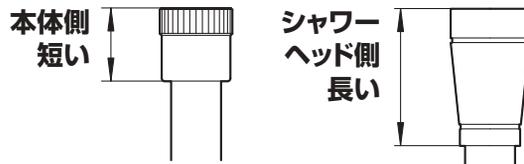
- ジョイントパッキンが入っていることを確認してください。ジョイントパッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- ジョイントパッキンの向きに注意してください。
- とがり止めねじはゆるみがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないとオーバーヘッドシャワーがはずれてけがをするおそれがあります。

7 シャワーホース・シャワーヘッドを取付けます。



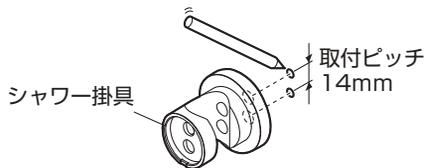
⚠ 注意

- シャワーヘッド・テーパキャップ・袋ナットは手でまっすぐねじ込んでください。工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- 袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。
- 袋ナット・テーパキャップを間違えないでください。短い方が袋ナット(本体側)です。



8 上側のシャワー掛具を取付けます。

- (1) シャワー掛具の位置を決め、ねじ取付位置に印を付けます。
- (2) 印を付けた位置に電動ドリルなどで穴を開けます。(コンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルを使用します。)



- コンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルを使用してください。
- 手順(3)で使用するアンカープラグ(市販)に適合するドリル径で開けてください。



- (3) 開けた穴にアンカープラグを差し込みます。

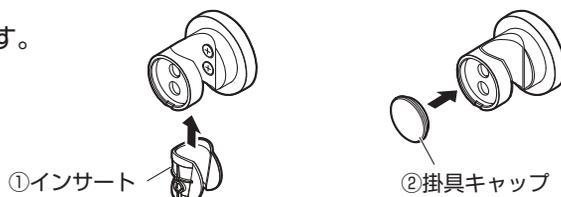


当社の止めねじ4.5×35に対応するアンカープラグを使用してください。

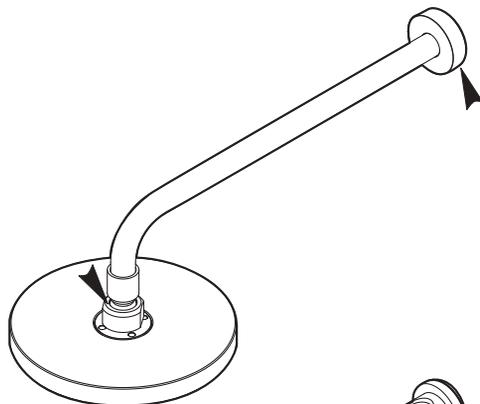
- (4) シャワー掛具と壁の間に座パッキンが入っている事を確認し、シャワー掛具をタッピンネジでしっかりと固定します。



- (5) カバーを下からはめ込み、掛具キャップでふさぎます。



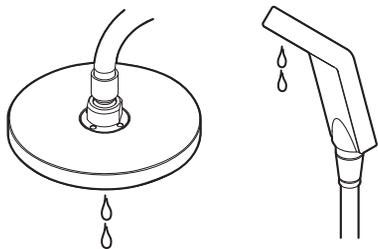
9 元栓を開いて水漏れをチェックします。



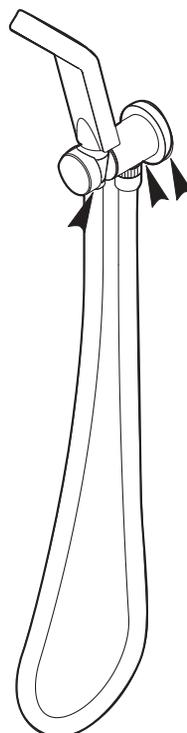
⚠ 注意

下記は異常や故障ではありません

止水後、シャワーから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワー内の残留水です。



下側掛具には水を排出する構造があり水滴が落ちる事があります。



ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

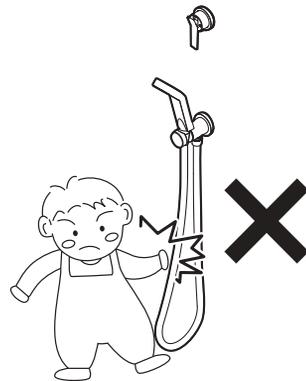
用語および記号の説明

- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



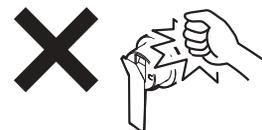
注意



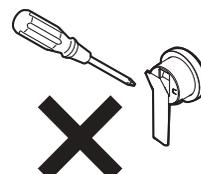
使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。



分解は、保守・点検の決められた項目以外
はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財
などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



⚠️ 注意



凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

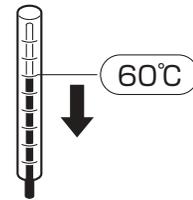
参照：P21



(給湯器の設定温度について)

給湯温度は60℃まででお使いください。

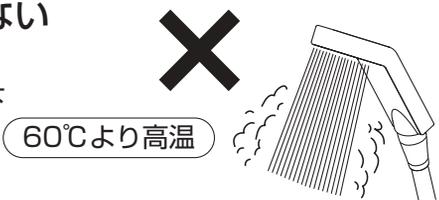
60℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50℃以下での給湯をおすすめします。



シャワーは60℃より高温でご使用にならないでください。

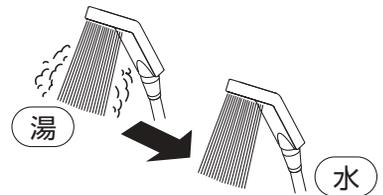
給湯温度が60℃より高温の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。

シャワーヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温でのご使用をおすすめします。



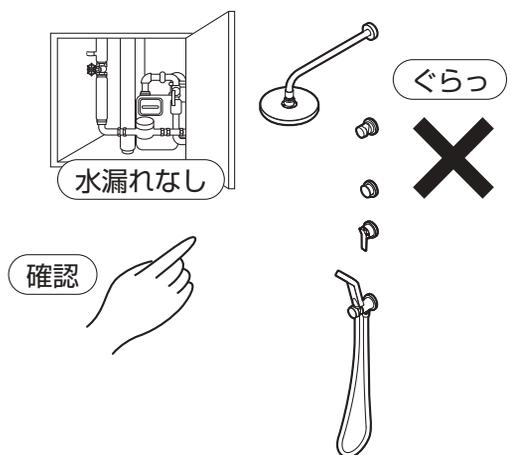
湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



レバーは、ゆっくり回してください。

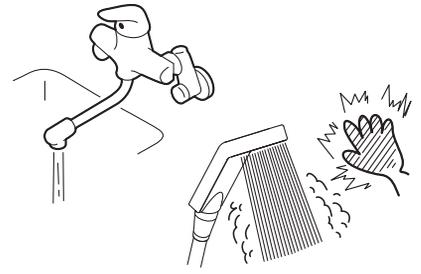
レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



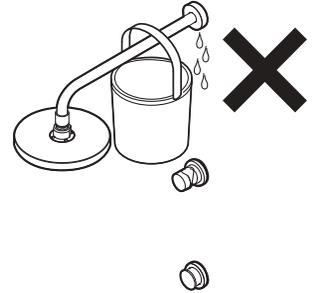
⚠️ 注意



他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。



製品に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。



シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



(樹脂メッキ付部品の場合)
樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。
●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす
メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。
万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。



本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

使用してはいけないもの

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわしなど
- 本体の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

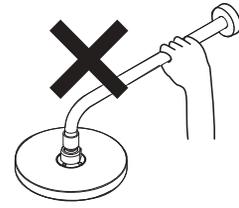


【SK9732-1S-MDP13の場合】
強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれがありますので、ご注意ください。

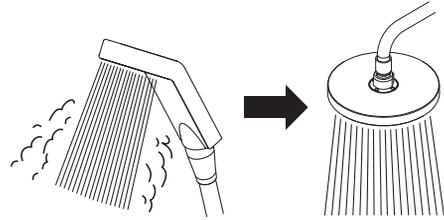
⚠️ 注意



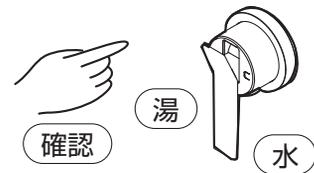
製品にぶら下がらないでください。
製品が破損したり、落下によるケガのおそれがあります。



オーバーヘッドシャワーを使用する際は
ハンドシャワーで温度を調節してから
お使いください。
やけどのおそれがあります。



レバーの温度位置を確かめて吐水して
ください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



切替ボタンは、ゆっくり動かしてください。
切替ボタンを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ゆっくりと

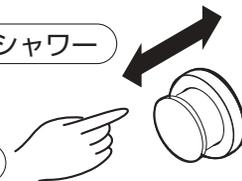


お使いになる前に、ハンドシャワー側か
オーバーヘッドシャワー側かを切替ボタ
ンで確認してから湯をお使いください。
間違えると、やけどをするおそれがあります。

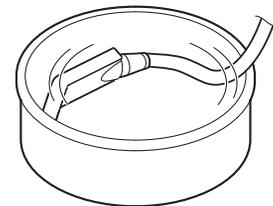
オーバーヘッドシャワー

ハンドシャワー

確認



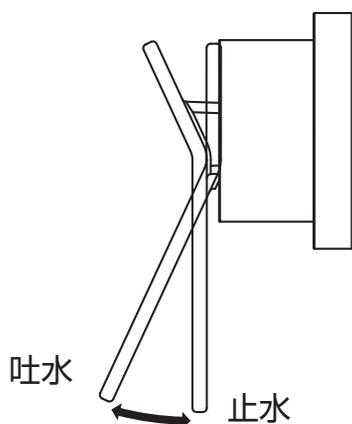
シャワーホースやシャワーヘッドを洗面器
などに漬けたまま放置しないでください。
汚水が器具に逆流するおそれがあります。



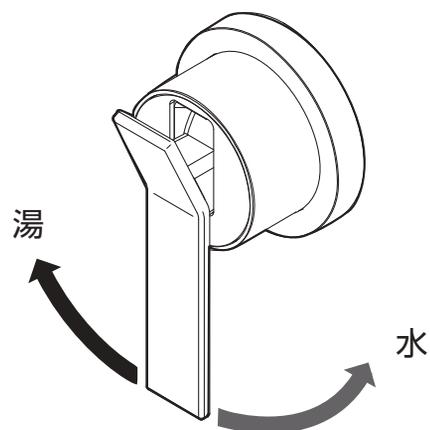
湯を使用する時はレバーを開いてから徐々に湯側に回して、温度および吐水量を調節してからご使用ください。

急に湯を吐水すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

【吐水・止水の操作】



【温度調節の操作】

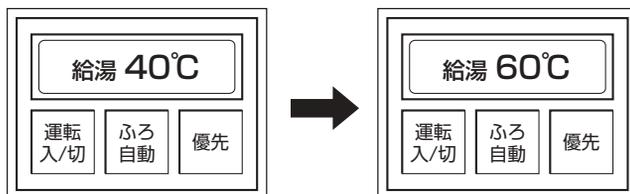


使用後

湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側に開いても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を60℃以下に設定した後、水栓側の湯側ハンドルを開いてください。



⚠ 注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンを適温に戻してしばらく水を流してください。

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。
この場合には、水栓側のハンドルを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。



ご使用について シャワーの切替え

切替ボタンを押すと「オーバーヘッドシャワー」、引くと「ハンドシャワー」に切替わります。

吐水はじめ

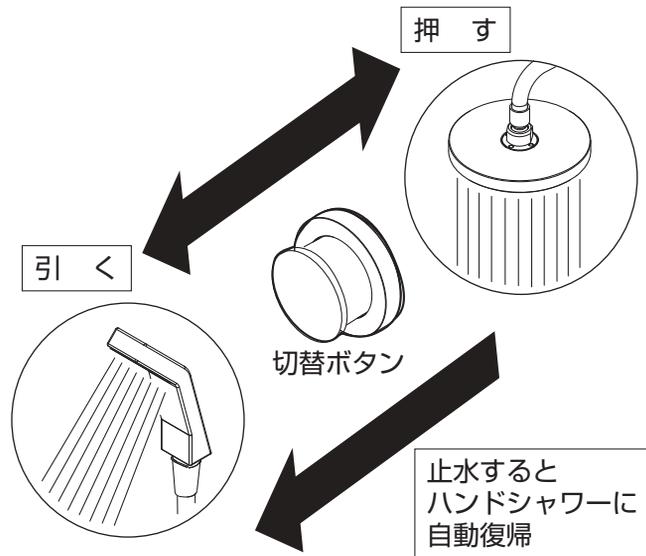
ハンドシャワーから吐水します。

切替ボタンを押す

オーバーヘッドシャワーに切替わります。
切替ボタンを引くと、ハンドシャワーに戻ります。

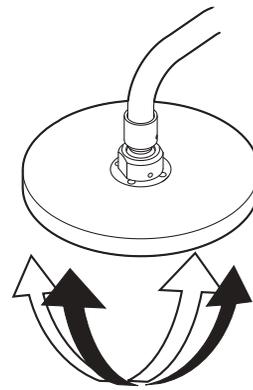
止水後再吐水

止水すると自動復帰機能が働き、強制的にハンドシャワーに切替わります。



⚠ 注意

- 切替ハンドルは全開でご使用ください。
- 流量や吐水温度を調節する場合は、レバー側で調節してください。
- レバーを全開で使用されていない場合、切替が機能しない場合があります。



オーバーヘッドシャワーの使用方法

オーバーヘッドシャワーは角度を変える事ができます。

シャワーヘッドからの水滴について

止水後、オーバーヘッドシャワー・ハンドシャワーから水滴がしばらく落ちる事があります。これはシャワー内部の残留水であり、一定時間だけの現象であれば異常ではありません。水滴が落ちる要因は、落ちる位置によって異なります。下表を参照し、それぞれの現象に合った対処を行ってください。

下記の対処を行っても直らない場合は、P23を参照ください。

| 水滴の落ちる位置 | 考えられる要因 | 対処 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| | 使用後の水がシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動や浴室ドアの開閉による気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出てることがあります。 気圧の変化など | (ハンドシャワーの場合) よく振る (オーバーヘッドシャワーの場合) 水平にして使用する |
| | ハンドシャワーを浴槽や洗面器に浸けるなどすると、ハンドシャワーの隙間から水が浸入することがあります。この水が外装部の隙間から流れ出てることがあります。 水の浸入 | ハンドシャワーをよく振る |

ご使用について 凍結予防について

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意



本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。



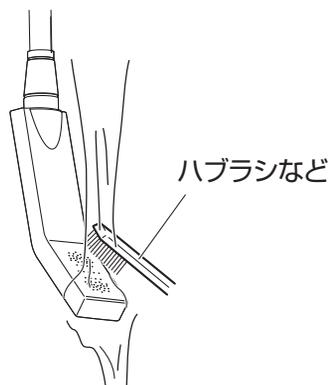
【SK9732-1S-MDP13の場合】
強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれがありますので、ご注意ください。

日頃のお手入れ

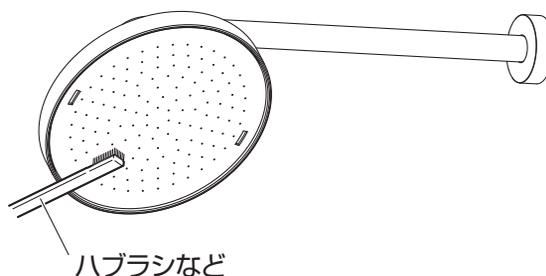
シャワーの掃除

シャワー板部分をハブラシなどで掃除してください。

■ハンドシャワー

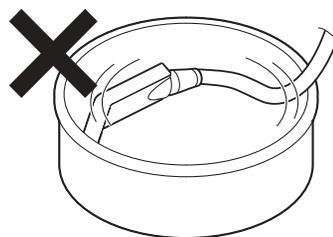


■オーバーヘッドシャワー



⚠ 注意

- メッキ面を傷つけないように注意して掃除してください。
- シャワー板の目詰まりにより、散水不良が発生してきた場合は、器具の破損につながります。部品のお取替えも検討して頂くようお願いします。(この場合は有償修理となります。)
- シャワーホースやハンドシャワーを洗面器などに浸けたまま放置しないでください。汚水が器具に逆流するおそれがあります。



定期的な点検

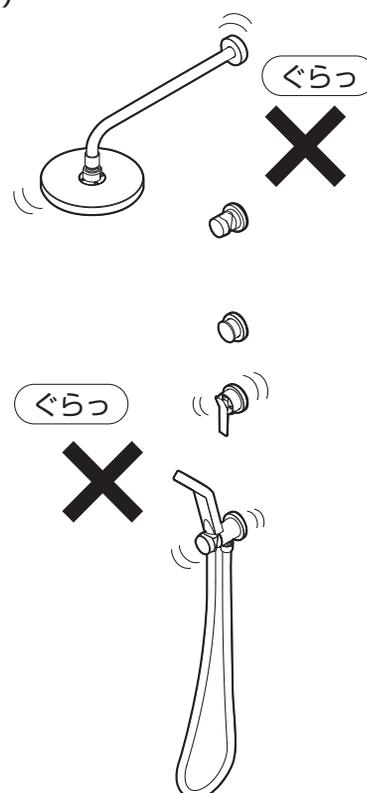
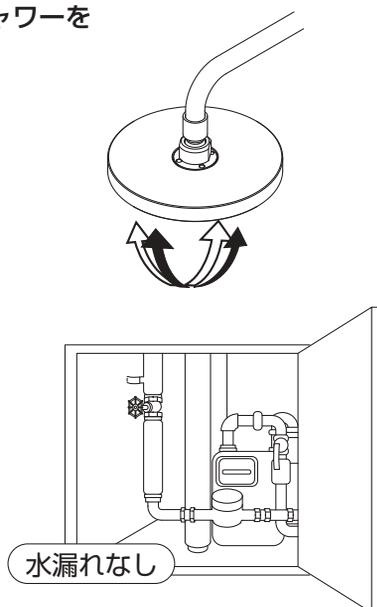
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

日頃から、ときどきオーバーヘッドシャワーを回してください。(月1回を目安)



こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

| 現象 | 点検項目 | 処置 |
|------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------|
| 流量が少ない | ゴミづまりはありませんか。 | シャワーの吐水部を掃除をする。 参照：P21 |
| 低温しかでない | 給湯機から湯がきていますか。 | 給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P18 |
| 温度調節がうまくできない | 給湯機から湯がきていますか。 | 給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P18 |
| シャワーヘッドから水滴が落ちる | レバーは下まで下がっていますか。 | レバーを下げる。 参照：P18 |
| | 一定時間経過で水滴が落ちなくないませんか。 | シャワーヘッド内の残留水で異常ではありません。 参照：P19 |
| 使い始めからしばらくして、レバーの作動が重く（あるいは軽く）感じる。 | | ご使用することで、商品内部の部品がなじんで安定化する現象で、故障ではありません。 |

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

| 現象 | 点検項目 |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各接合部及びレバー周辺・切替ボタン周辺から水が漏れる | 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。レバー周辺からの水漏れの場合は、カートリッジを交換してください。切替ボタン周辺からの水漏れの場合は、自動復帰弁を交換してください。 参照：P26 |
| 止水してもシャワー掛具から水が漏れる | 下側のハンドシャワー掛具には、水を排出する構造があり水滴が落ちる事があります。止水後も長時間水漏れが続く場合は必要に応じて逆止弁(吸気弁)を交換してください。 参照：P26 |
| 止水してもシャワーヘッドから水が漏れる | 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。シャワーヘッドを交換してください。 参照：P26 |
| シャワーホースから水が漏れる | 老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワーホースを交換してください。 参照：P26 |

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

- ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※一部の地域では左まわしの場合があります。
- ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

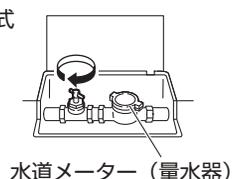
■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式

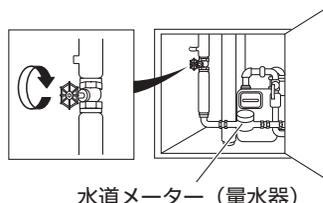


●ハンドル式



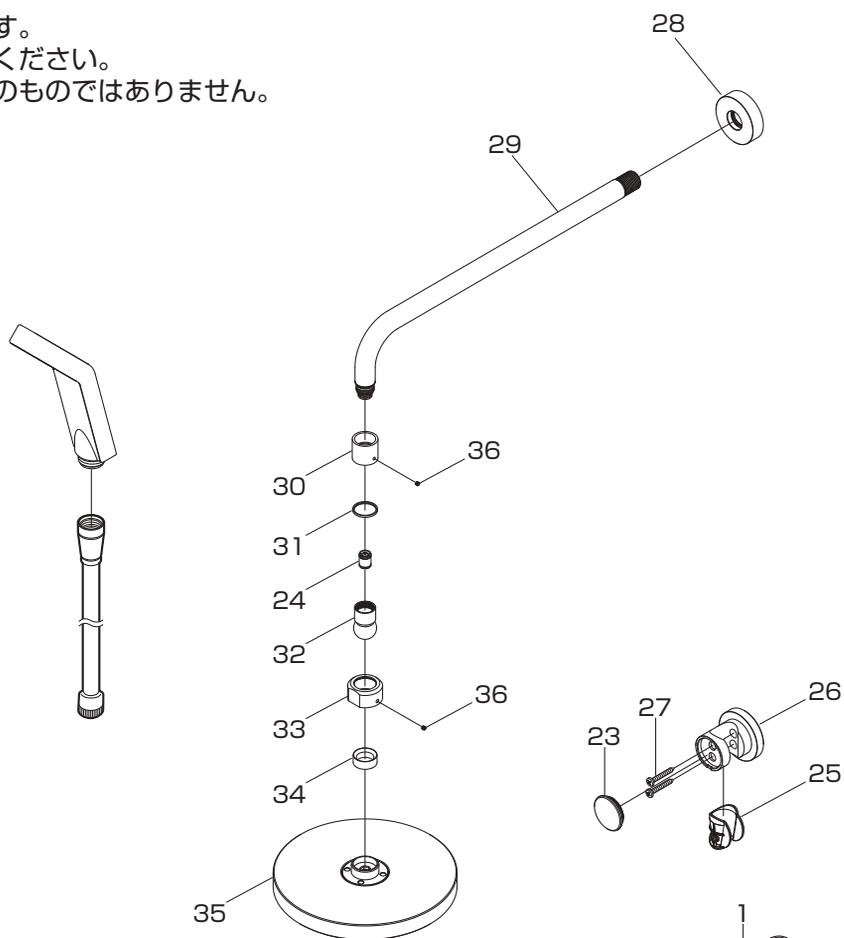
■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



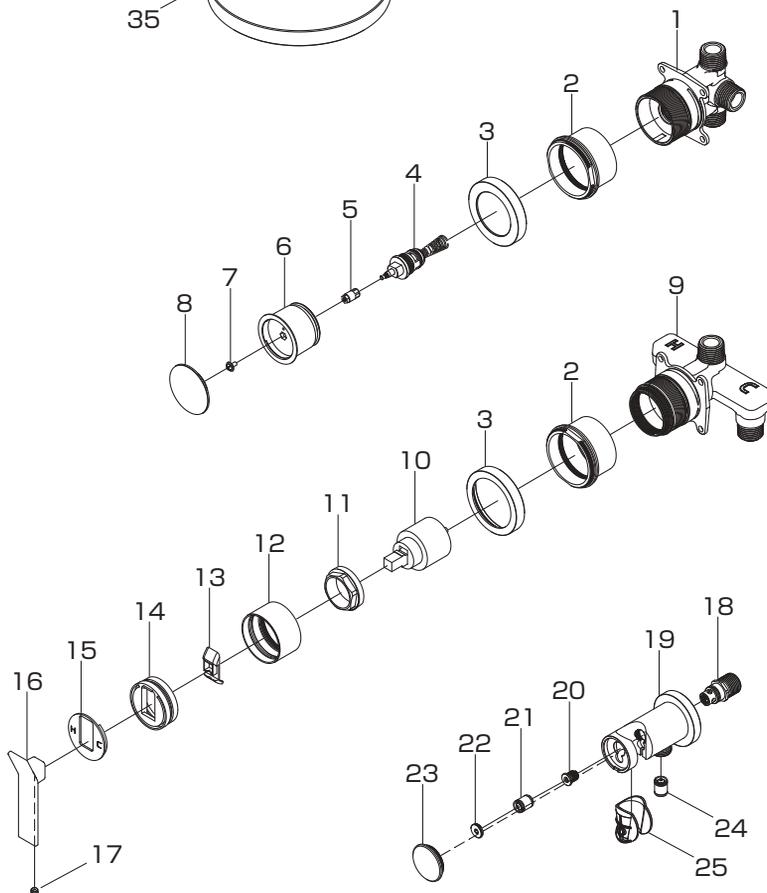
こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
 構造をご理解いただくのにご使用ください。
 ※部品として注文いただける単位のものではありません。



SK9732-1S-13
 SK9732-1S-MDP-13

1. 胴
2. プッシング
3. 化粧リング
4. 自動復帰弁
5. 切替シャフト
6. 切替ボタン
7. 止めねじ
8. 切替ボタンキャップ
9. 胴
10. シングルカートリッジ
11. カートリッジ押え
12. 化粧カバー
13. スライドカバー
14. 回転キャップ
15. 化粧プレート
16. レバー
17. 止めねじ
18. 接続金具
19. シャワー掛具
20. キャップ
21. 吸気弁
22. 抜け止めキャップ
23. 掛具キャップ
24. 逆止弁コア
25. インサート
26. シャワー掛具
27. タッピンネジ
28. 化粧リング
29. パイプ
30. カバー
31. スベリリング
32. ボールジョイント
33. 袋ナット
34. ジョイントパッキン
35. オーバーヘッドシャワー
36. とがり止めねじ



保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP20~21、定期的な点検についてはP21をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例

シングルカートリッジ・逆止弁・シャワーホース・シャワーヘッド・オーバーヘッドシャワー・レバー・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP23を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
 - 訪問希望日

- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには水栓の切替ボタンの内側に貼付のシールをご確認ください。
※化粧キャップを開封することでご確認ください。

(例) 品番

SK9732-1S-13
1234567890 G

製造番号



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

| | | | | | |
|------------------|---------------------------|-------------------|---|----|-----|
| 品番 | 品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。 | | | | |
| 保証期間 | 対象部品 | 期間(お買上げ日/お取付け日から) | | 店名 | 住所 |
| | 本体 | 2カ年 | | | |
| お買上げ日 (お取付け日) | | 年 | 月 | 日 | 販売店 |
| お客様 | お名前 | 様 | | | |
| | 住所 | | | | 電話 |
| | 電話 | () | | | |
| | | | | | () |

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
 - ★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
 受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
 ホームページ www.sanei.ltd